

平成20年6月1日  
(2008)  
**第85号**  
毎月発行  
編集  
公民館だより編集室  
発行  
西東京市公民館

# 西東京市 公民館だより

**田無公民館**  
南町5-6-11  
TEL 461-1170

**芝久保公民館**  
芝久保町5-4-48  
TEL 461-9825

**谷戸公民館**  
谷戸町1-17-2  
TEL 421-3855

**保谷公民館**  
柳沢1-15-1  
TEL 464-8211

**ひばりが丘公民館**  
ひばりが丘2-3-4  
TEL 424-3011

**保谷駅前公民館**  
中町1-6-8 (保谷庁舎東分庁舎内)  
TEL 421-1125

## 保谷駅前公民館が

# 6月29日(日)オープンします

保谷駅前公民館が、6月29日に保谷駅前(東町3丁目)地区再開発のII街区ビル「ステア」5階にオープンします。施設の概要をご案内します。

### ▼各部室のご紹介

**第一会議室**……乳幼児が保護者と一緒に過ごせる部屋です。和室としてもお使いいただけます。靴を脱いでご利用ください。(床材「コルクタイル」)

**第二会議室**……一般的な会議室です。会議、講座、各種講習会にご利用ください。(床材「ビニール床シート」)

**第三会議室**……IH電磁調理台2台を備えています。テーブルははや頑丈なものを用意しましたので、簡易な工作活動にも向いた部屋です。会議などにご利用ください。(床材「ビニール床シート」)

**第四会議室**……楽器練習用の部屋で、防音を施しています。ドラムセット、アンプ、キーボードを常備しています。(床材「カーペットタイル」)一日が6区分に分かれています。

**集会室**……90人までの集会、音楽会、スペースを必要とする活動にご利用ください。グランドピアノを常設しています。(床材「フローリング」)

**開館時間** 午前9時～午後10時

**休館日** 毎月第4月曜日、12月29日～1月3日、その他施設メンテナンスなどのため、臨時休館することがあります。

設メンテナンスなどのため、臨時休館することがあります。

### ▼主な備品

CDラジカセ、アンプ・ワイヤレスマイク、テレビ(DVD、ビデオデッキ付属)、キーボード、展示用パネル

### ▼印刷機などについて

ロビー内に印刷機、裁断機、紙折り機を設置しています。

### ▼団体連絡箱について

ロビー壁面に64箱設置しています。申し込みについては2面をご覧ください。

### ▼駐輪場について

ビル共有の有料駐輪場が255台分地下にあります。部屋利用者、公民館主催講座に参加の方には、無料券をお渡ししますが、詳細は公民館にお問い合わせください。

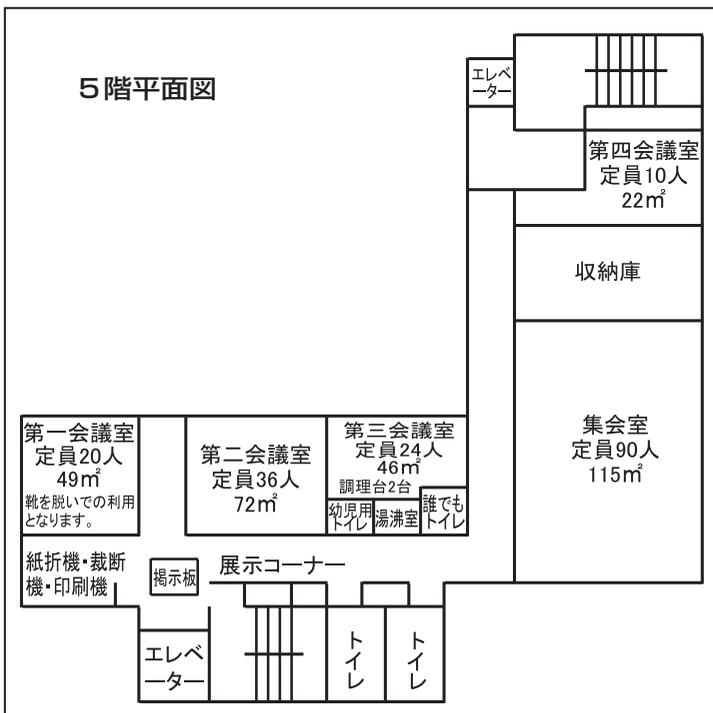
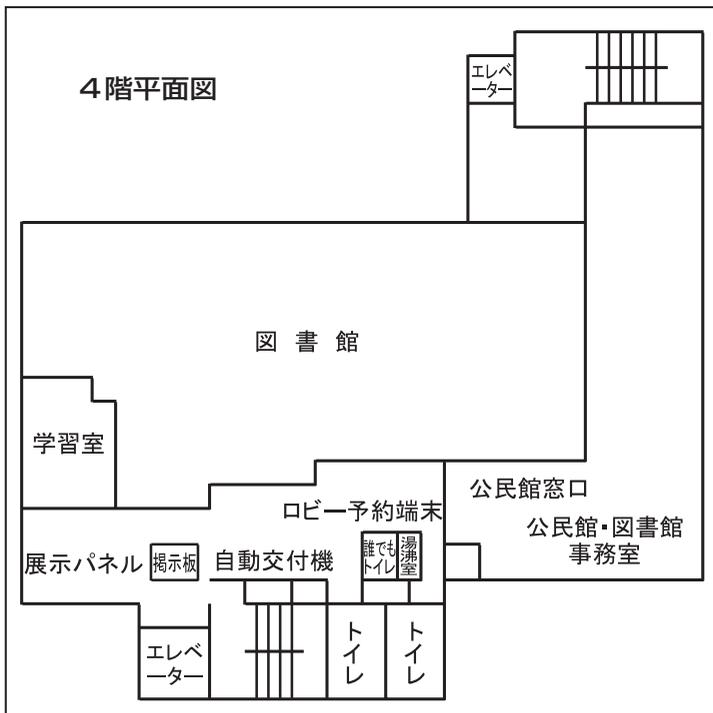
### ▼駐車場について

駐車場はビル共有で32台分のスペースがあります。有料になります。

▼総合事務室は4階です。お気軽に声をかけてください。

### 公民館の利用方法について

市内には6館の公民館がありますが、公民館を利用したい団体は、あらかじめ公民館窓口で施設使用登録を行ってください。登録できる市民団体とは、3人以上で構成される団体で、市民が過半数を占めることです。その他詳細は各公民館へお問い合わせください。



## りゅうわ 立和会

「茶道」と耳にすると着物を着て畳に正座する姿を最初に思い浮かべるかもしれませんが、あまり聞き慣れない言葉ですが「立礼式」というのをご存知ですか？

椅子に腰掛け、テーブルを使う茶道の方法で野点の時などによく用いられています。服装も和服にはこだわらず、自由。形式もカジュアルですが、茶道の作法や基本はそのままです。

立和会は裏千家茶道の習得を立礼式で行うユニークなサークルです。平成19年10月に発足し、月2回、主に谷戸公民館で活動しています。



会の講師、高橋宗啓さんは、二年間米国で暮らした時、大学でお茶会をし、現地新聞にも報道されました。

「現地の方は日本人なら誰でもお茶ができると思っていますよ。うでした」

そんな中、お茶を通して日本



の伝統文化の素晴らしさを伝えたいと強く思うようになりまして。

しかし、正式に行うと、3時間4時間もかかるお茶の席では、正座をすることが大きな壁となります。

そこで外国人だけでなく正座が苦手な人や、車椅子の人でも出来る立礼式を用いることにしました。

「日本文化の集大成といえる茶道は作法を重んじます。しかしながら堅くならず自然体でよいと思うのです。間口を広げてもっと色々な方々に楽しんでいただきたい」そんな思いで立礼式の茶道の普及に力を注いできました。

発足当時3人だった会員も毎月増え現在は9人となりました。年齢も経験年数も様々です。会の代表の相馬さんがお茶を習っていたのは30年以上も前のこと。

「足を痛めてからは、お茶とはもう無縁だとあきらめていました。でもまたお茶にふれることができて本当に嬉しいです」11月には家族や友人を招いてお茶会を開催します。それに向けて気負わずに、楽しみながらお稽古をしています。

連絡先 古川 ☎423・4685